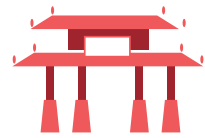


SHURI
SAMPO



英語を活かして
那覇の魅力を発信



MIKUNORI



伊盛実来

国際コミュニケーション学科 3年次
与勝高校出身

CASE



海外からの観光客のニーズを考えマップを制作
視野が広がり将来のキャリアにつながる経験

首里のまちを実際に歩いて感じた多言語化の遅れ。
その課題解決のためマップの英語版制作に着手。
初めてのことで何から手をつけていいのか分からず、
大変で苦労することばかり。
でも、グループのメンバーで協力してマップは完成！
未経験のことでも挑戦することで視野が広がることを
身をもって体験することができました。



DISCOVERY!

学べば学ぶほどもっと知りたくなってくる！



国際コミュニケーション学科の
末吉ゼミに入っていますが、マッ
プ、インスタグラム、ビデオ、ホ
ームページの4種類の媒体を使っ
て英語を活かした那覇の魅力を発
信する事業に取り組んでいます。
那覇は国内外からたくさんの人が
訪れる観光都市です。観光客の
方々が求めているのはどんな情報
なのか。そのニーズを考えながら、
さまざまな視点から、紹介する内
容を考えるようにしています。

今回、マップを制作することに
したのですが、多くの情報をわかり
やすく、魅力的に見せるために
どうすればいいかを考えました。
初めてのことであったので、何から
手をつければいいのか分からず、
大変なことがたくさんあって、本
当に完成させることができるのか
とても不安でした。でも、マップ
に掲載するお店を選んだり、公共
交通機関について調べたり、グル
ープのみんなで協力し合っどう
にか「首里マップ」を完成させる
ことができました。苦労すること
はたくさんありましたが、お店の
取材に快く応じてくださるフレンド
リーな方々の魅力をたくさんの
人に知って欲しいと思ったのと、
完成した時は今までにない達成感



を味わうことができました。

マップを制作する中で、観光と
いう視点での課題にも気づきまし
た。交通渋滞や多言語化の遅れな
どが気づいた課題ですが、だから
こそ、私たちの活動がもっと必要
だと感じています。

私自身、将来何になりたいのか、
目標などがあまりはっきりせず、
もやもやとした気分を抱えていま
した。でも、ゼミでの活動を通し
て、沖縄の観光に関する、例えば
課題解決や魅力の発信の仕事に興
味を持つようになりました。いま

は、沖縄を訪れる観光客の方々に
なんらかの形でサポートする職業
に就きたいと思っています。また、
地域の人たちとの交流を通して暮
らしの課題解決についても考えて
みたいです。首里マップを作った
ことで、一つのことを最後まで成
し遂げる経験ができ、挑戦するこ
とで視野が広がり、自分のキャリ
アに繋がっていくことが分かりま
した。これからは観光客と、地元
の人たちとも交流し、さまざまな
挑戦をしていきたいと思っています。

マップの英語翻訳も自分たちで挑戦してみました



「何を載せればいいんだろう?」「取材するお店はどうする?」など、初めての
マップ制作は分からないことだらけ。グループのメンバーで意見を出し合い、取
材を進め、自分たちで写真を撮ったり原稿を書いたり。苦労したけれど完成し
たときの感動はひとしお。協力してもらった掲載先にはマップをもって挨拶に。



SHURI SAMPO MAP

完成した「首里さんぽマップ」はポケットに
も収まるA5サイズ。広げると、マップととも
に立ち寄りスポットが掲載されている。「今
後はもっと良いものを作りたい」と意欲満々。



FIELD WORK